

第 116 回 埼玉県内企業経営動向調査－2021 年 7～9 月期－

調査対象：県内企業 536 社 調査方法（期間）：アンケート方式（7 月 20 日～8 月 25 日）
 回答企業：193 社（回答率 36.0%） 業種別内訳：製造業 114 社 非製造業 79 社
 調査分析方法 BSI 方式 各設問に対して、良い・増加・過大と回答する割合から悪い・減少・不足と回答する割合を差し引いた数値で業況などを分析する方式

調査時点	為替レート(円/ドル)	日経平均株価(円)
(前回) 2021 年 5 月 21 日	108.86	28,317.83
(今回) 2021 年 8 月 25 日	109.84	27,724.80

概況

埼玉県内企業の業況感（全産業）は、改善している。

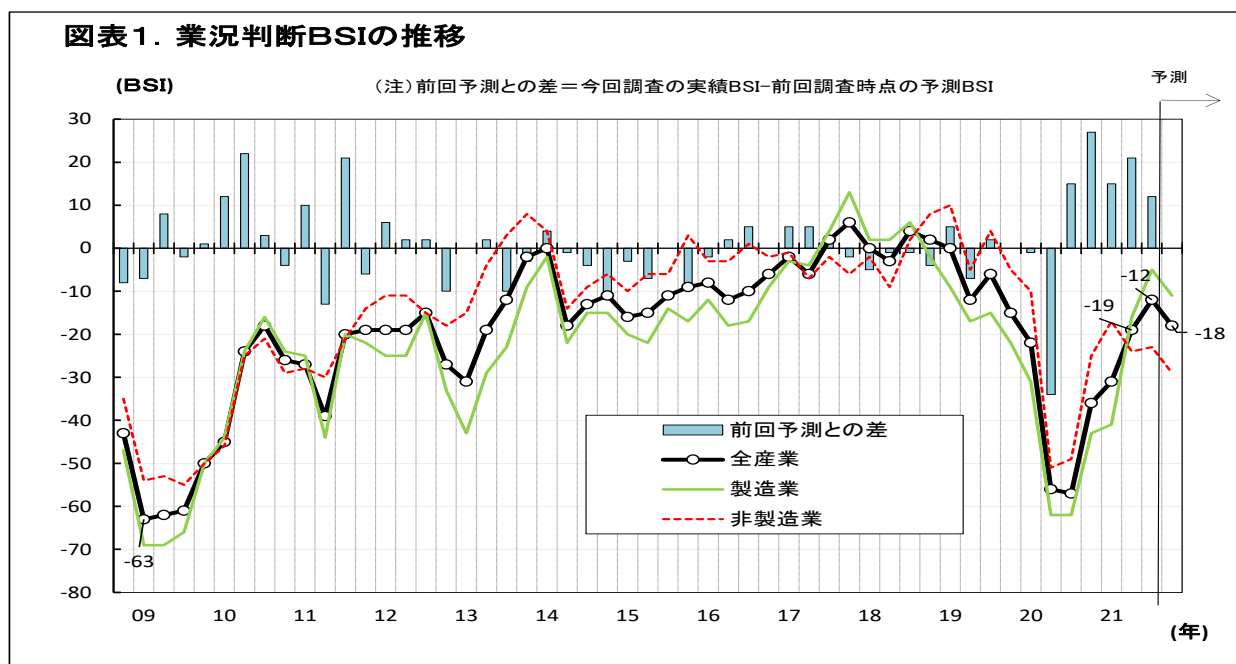
今回調査（2021 年 7～9 月期）の業況判断 BSI は－12 と、前回 4～6 月期調査（－19）比マイナス幅が 7 ポイント縮小している。業種別にみると、製造業で加工組立型を中心に改善基調が続いている一方、非製造業では改善が足踏みしており、業況感の明暗が分かれている状況にある（製造業：前回－16 → 今回－5、非製造業：前回－24 → 今回－23）。

製造業では、生活関連型で悪化したが、加工組立型を中心に海外経済の回復持続に加え堅調な巣ごもり需要やデジタル関連需要増などを背景に改善基調が続いている。一方、非製造業では、一般建設で改善しているものの、卸・小売、運輸・倉庫、その他非製造業（飲食・娯楽サービス）では改善が足踏みしている。この間、原材料コスト上昇による収益の圧迫を懸念する声が聞かれている。

先行き（2021 年 10～12 月期）については、－18 とマイナス幅が拡大する見通し。

製造業、非製造業とも、感染力の強い新型コロナ変異ウイルスの感染拡大から、依然として先行きの業況回復には慎重な見方をする先が多い。（製造業：今回－5 → 先行き－11、非製造業：今回－23 → 先行き－29）

図表 1. 業況判断 BSI の推移



1. 業況判断 BSI (「良い」 - 「悪い」)

埼玉県内企業の業況感 (全産業) は、改善している。

今回調査 (2021 年 7~9 月期) の業況判断 BSI は -12 と、前回 4~6 月期調査 (-19) よりマイナス幅が 7 ポイント縮小している。業種別にみると、製造業で加工組立型を中心に改善基調が続いている一方、非製造業では改善が足踏みしており、業況感の明暗が分かれている状況にある (製造業: 前回 -16 → 今回 -5、非製造業: 前回 -24 → 今回 -23)。

製造業では、生活関連型で悪化したが、加工組立型を中心に海外経済の回復持続に加え堅調な巣ごもり需要やデジタル関連需要増などを背景に改善基調が続いている。一方、非製造業では、一般建設で改善しているものの、卸・小売、運輸・倉庫、その他非製造業 (飲食・娯楽サービス) では改善が足踏みしている。この間、原材料コスト上昇による収益の圧迫を懸念する声が聞かれている。

図表 2. 規模別・業種別業況判断 BSI

	2020年				2021年				
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月		10~12月 (先行き)
							前回予測	今回	
全産業	-22	-56	-57	-36	-31	-19	-24	-12	-18
規模の小さい企業(100人未満)	-25	-52	-50	-41	-34	-28	-26	-14	-14
規模の大きい企業(100人以上)	-18	-61	-64	-30	-27	-10	-23	-11	-22
製造業	-31	-62	-62	-43	-41	-16	-18	-5	-11
規模の小さい企業(100人未満)	-36	-58	-59	-46	-47	-26	-23	-13	-11
規模の大きい企業(100人以上)	-26	-67	-67	-40	-35	-4	-13	4	-10
素材型	-33	-63	-61	-40	-42	-14	-16	-10	-13
紙加工品等	-36	-60	-80	-36	-55	0	0	-20	-10
化学・プラスチック・ゴム製品	0	-38	-17	-8	-33	43	14	9	9
鉄鋼・非鉄金属	-44	-83	-80	-78	-40	-30	-10	-11	-11
金属製品	-50	-100	-86	-67	-43	-29	-14	0	-14
その他素材型	-27	-44	-60	-30	-40	-40	-60	-27	-36
加工組立型	-48	-68	-71	-49	-38	-22	-20	11	-4
一般機械器具	-40	-100	-75	-64	-60	-8	-25	15	-8
電気・情報通信機械器具	-30	-44	-55	-62	-60	-42	-8	-9	-18
電子部品・デバイス	-70	-71	-60	-11	11	9	0	20	20
輸送機械	-67	-86	-100	-75	-75	-57	-43	13	13
精密機械	-20	-20	-60	-17	20	-25	-50	20	-40
生活関連型	25	-50	-38	-43	-58	-17	-25	-27	-13
飲・食料品	50	-17	0	-14	-43	0	13	0	0
印刷・関連業	0	-100	-71	-71	-80	-50	-100	-80	-40
その他製造業	0	0	-50	-25	-20	33	0	-50	-50
非製造業	-10	-51	-49	-25	-17	-24	-33	-23	-29
規模の小さい企業(100人未満)	-11	-45	-38	-31	-16	-30	-30	-16	-19
規模の大きい企業(100人以上)	-9	-56	-61	-18	-19	-18	-36	-29	-38
一般建設	5	-29	-21	0	6	-14	-7	-6	-19
住宅建設	-40	-20	-33	0	-25	-25	-50	-67	-33
卸 売	-7	-62	-57	-46	-29	-25	-42	-25	-17
小 売	-26	-42	-63	0	-5	-42	-37	-44	-50
運輸・倉庫	0	-45	-73	-63	-45	-38	-50	-50	-60
不動産	-33	-60	-33	-43	0	20	-20	13	0
その他非製造業	0	-81	-53	-33	-33	-14	-36	-7	-21

2. 売上（生産）高 BSI（「増加」－「減少」） ～全産業で3四半期ぶりに「増加」超に転化～

製造業では、生活関連型で「減少」超となったものの、加工組立型、素材型ともに改善したことから「増加」超に転じた。非製造業でも、一般建設、住宅建設、卸・小売で改善したことから、2019年7～9月期以来8四半期ぶりに「増加」超に転じた。

図表3 売上（生産）高 BSI

	(前々回調査) 21年1～3月期	(前回調査) 4～6月期	(今回調査) 7～9月期	(先行き) 10～12月期
全産業	-19	-11	5	2
製造業	-21	-8	5	7
非製造業	-15	-16	5	-6
規模の小さい企業	-23	-17	5	5
規模の大きい企業	-14	-5	5	-2

3. 経常利益 BSI（「増加」－「減少」） ～製造業は「減少」超幅が横ばいの一方、非製造業では「減少」超幅が縮小～

製造業では、加工組立型が「増加」超となった一方、生活関連型で「減少」超に転じたことから「減少」超幅は横ばいであった。非製造業では、一般建設、住宅建設で「増加」超幅が拡大したほか、小売で「減少」超幅が縮小したことから、「減少」超幅が縮小している。

図表4 経常利益 BSI

	(前々回調査) 21年1～3月期	(前回調査) 4～6月期	(今回調査) 7～9月期	(先行き) 10～12月期
全産業	-23	-11	-7	-7
製造業	-27	-9	-9	-4
非製造業	-19	-13	-5	-12
規模の小さい企業	-24	-17	-8	-4
規模の大きい企業	-23	-4	-6	-10

4. 海外需要 BSI（「増加」－「減少」） ～製造業で「増加」超幅が小幅縮小、非製造業では「減少」超幅が小幅縮小～

製造業では、素材型で「減少」超に転じたことから、「増加」超幅が小幅縮小。非製造業では、小売、不動産の改善から「減少」超幅が小幅縮小している。

図表5 海外需要 BSI

	(前々回調査) 21年1～3月期	(前回調査) 4～6月期	(今回調査) 7～9月期	(先行き) 10～12月期
全産業	-10	2	1	1
製造業	-10	6	3	3
非製造業	-10	-7	-5	-5
規模の小さい企業	-16	-1	1	0
規模の大きい企業	-3	5	0	1

5. 生産（販売）設備 BSI（「過剰」－「不足」） ～全産業で 2019 年 7～9 月期以来 2 年ぶりに「不足」超に転化～

製造業では、素材型が「不足」超に転化し、生活関連型の過剰感が弱まったことから、「不足」超に転じた。非製造業では、小売の「不足」超転化から「不足」超幅が拡大している。

図表 6 生産(販売)設備 BSI

	(前々回調査) 21 年 1～3 月期	(前回調査) 4～6 月期	(今回調査) 7～9 月期	(先行き) 10～12 月期
全産業	3	2	-3	-3
製造業	8	4	-2	-1
非製造業	-4	-1	-5	-5
規模の小さい企業	4	2	-5	-6
規模の大きい企業	2	1	-1	1

6. 雇用人員 BSI（「過剰」－「不足」） ～製造業、非製造業ともに「不足」超幅が拡大～

製造業では、素材型、加工組立型、生活関連型でいずれも不足感が強まったことから、「不足」超幅が拡大している。非製造業でも、住宅建設、卸・小売の不足感の強まりから、「不足」超幅が拡大している。

図表 7 雇用人員 BSI

	(前々回調査) 21 年 1～3 月期	(前回調査) 4～6 月期	(今回調査) 7～9 月期	(先行き) 10～12 月期
全産業	-12	-14	-26	-24
製造業	-1	-8	-19	-17
非製造業	-26	-21	-35	-33
規模の小さい企業	-18	-14	-24	-21
規模の大きい企業	-6	-13	-27	-26

7. 資金繰り BSI（「楽」－「苦」） ～全産業で「楽である」超幅が拡大～

製造業、非製造業ともに「楽である」超幅が拡大している。

図表 8 資金繰り BSI

	(前々回調査) 21 年 1～3 月期	(前回調査) 4～6 月期	(今回調査) 7～9 月期	(先行き) 10～12 月期
全産業	6	7	13	7
製造業	6	12	14	7
非製造業	6	1	10	8
規模の小さい企業	5	2	11	5
規模の大きい企業	7	13	14	10

以上